

総合的な学習の時間

11月13日（木）

	学級	授業者	単元名・題材名
公開授業 1 13:00～	6年4組	岡田 華	大人になってもずっと残していきたい高山

高山市立北小学校 6 年生 総合的な学習の時間 年間指導計画(令和 7 年度 6 0 時間)

探究課題	予測不能な未来において、たくましく生きるために、今わたしたちはどのような力を身に付けておくべきか。							
単元名	大人になってもずっと残していきたい高山 ～過去・現在から未来を予測し、たくましく生きるために必要な力を探究する～							
ねらい	自分たちが住んでいる高山の過去から現在の変化や発展についての探究的な学習を通して、未来を予測し、課題の解決に向けて、主体的に情報を収集したり事実や関係を比較したりして新たな考えや新たなものを創り出すとともに、未来への見通しをもってたくましく生きようとする態度を育てる。							
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	①地域には、伝統的な食や工芸品、多様な人々が共生できるような福祉が存在し、それらを生かしたまちづくりが進められていることと、自分たちの生活が関わっていることを理解している。 ②活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。 ③未来への見通しをもって課題解決に向けて取り組むことは、高山の過去から現在の変化や発展について探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。		①大人になってもずっと残していきたい高山について、過去から現在の変化や発展から、未来を予測して課題をつくり、解決に向けて自分にできることを考えている。 ②探究課題について必要な情報を、手段を選択して収集している。 ③探究課題について収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較、関連付け、焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。 ④伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。		①未来に残していきたい高山の魅力に関心をもち、自分自身の生活を見つめ直し、自分の意思で探究的な学習に取り組もうとしている。 ②高山の魅力を残すために自分にできることを考えたり実行したりする中で得た知識や仲間の考え、地域の方々の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③課題解決に向けた自分の取組や状況をふり返り、未来に残していきたい高山に向けて粘り強く取り組もうとしている。			
月	学習活動				知	思	態	評価方法
4月 (4)	【オリエンテーション】 ○3～5年生までの既習の学習内容を確認し、今後の学習について見通しをもつ。 3年：伝統的な食（飛騨ブランド・伝統食） 4年：伝統工芸（春慶塗・さるぼぼ・渋草焼） 5年：福祉（ボッチャ体験・身体障がい者の講話）				①			・発言内容
5月 6月 (12)	【課題の設定】 ○3～5年生までの既習の学習内容をふり返ったうえで、それらが現在置かれている状況を踏まえ、各自のテーマにおける課題を明らかにする。 【情報収集】 ○課題を明らかにするために、既習の学習内容について新たに生まれた疑問やさらに知りたいことについて、本、インターネット、新聞、インタビュー、図書館などで情報を集める。					①		・ワークシートの記述 ・発言内容
7月 8月 (6)	【整理・分析】→写真コンテスト ○各自のテーマについて、現状分析や未来予測のために集めた情報を整理・分析する。 ○それを踏まえ、大人になってもずっと残していきたい高山の風景の撮影方法を学ぶ。 （人物・歴史・文化・自然・伝統） 【表現】 ○夏休みを利用して、各自のテーマに沿って撮影する。				②			・ワークシートの記述
9月 (6)	【課題の設定】 ○各自のテーマにおける現状や未来において、必要になる力は何か、情報を根拠として仮説を立てる。 ○仮説の立証のために、解決に向けた計画を立てる。					③		・ワークシートの記述 ・発言内容
10月 (8)	【情報の収集】 ○個人の仮説を立証するために、情報を集める。 ○高山市役所の方から、高山の現状を学ぶ。					②	③	・ワークシートの記述
11月 (8)	【まとめ・表現】→写真コンテスト ○各自のテーマにおける過去からの現状・未来において必要になる力をまとめる。 ○これらを踏まえ、「大人になってもずっと残していきたい高山」の写真についてプレゼンテーションを行う。（キャッチコピーも併せて考える）					③	②	・ワークシートの記述 ・発表内容 ・行動観察
12月 (6)	【整理・分析】 ○収集した情報を、「重要性」「汎用性」などに分類し、ピラミッドチャートを用いて分析し、今後の方向性を考える。					③	①	・ワークシートの記述
1月 2月 (10)	【まとめ・表現】 ○これまでの学習の成果と課題を明確にし、まとめ、発信する。 ○高山市役所の方を招き、「大人になってもずっと残していきたい高山」にするための提案を行う。				③	④		・ワークシートの記述 ・発表内容 ・行動観察

■ 教 科：総合的な学習の時間	■ 単 元 名：大人になってもずっと残していきたい高山 （４０／６０）
■ 授業者：岡田 華	■ 授業学級：６年４組 （北舎４階 ６年４組教室）

■ 本時の「ねらい」

各自のテーマ（大人になってもずっと残していきたい高山）についての願いを伝え合う活動を行い、写真の良さを引き立てるようなキャッチコピーを考えることができる。

【思考・判断・表現】

■ 本時に働かせる見方・考え方 ☆個に応じて、各教科の見方・考え方を働かせる。

【見方・考え方】

例：外国語→目的 自分が好きな高山を残すために 場面・状況 残したい高山について仲間と伝え合うことで、自分の考えを再構築する
 例：社会→位置や広がり 高山市以外にはあるのか 時期や時間 いつから始まったか かかわり 地域、JA、市 比較 他の農業

時間	●学習活動 ・児童の姿	「ねらい」にせまるための手立て
0 課題化	●これまで学習してきたことをふり返し、本時の課題をつかむ。	◇研究内容１：「個別最適な学び」
5 小集団追究	写真にピッタリなキャッチコピーを考えよう。	● 自分の考えの根拠を明らかにして伝えるための工夫
10 個人追究	●グループに分かれて、自分が残したい高山の写真を見せながら、これまでの学習や調べたことをもとに願いを伝え、キャッチコピーを発表する。	・ 各自のテーマに応じて願いを伝えるために、必要な情報や資料（タブレットや掲示、教科書）などを提示しながら伝えられるようにする。
20 個人追究	・ そのテーマにした、理由やきっかけ（これまでの学習、経験をもとに）	◇研究内容２：「協働的な学び」
30 個人追究	・ そのテーマが抱える課題点や問題点について、調べたこと	● よりよく課題を解決するための、対話活動における指導の工夫
40 振り返り	・ 考えたことや自分にできること など	・ 仲間の考えに触れることで残したい高山についての考えや願いが深まるよう、対話の視点を示す。
45	●仲間話を聞いて思ったことを伝え合い、よりよいキャッチコピーになるよう考える。	【対話の視点】 キャッチコピーをよりよくしよう。
	●写真から伝わったこと	
	●話を聞いて、思ったこと（自分のテーマと比べて、これまでの経験をもとに）	
	●質問したいことや、もっとくわしく聞きたいこと	
	●キャッチコピーから感じたこと など	
	●本時の学習をふり返る。	板書計画
	【目指す子どもの姿（評価）】 わたしは、宮川朝市を残したいと思っているよ。キャッチコピーを迷っていたけど、これに決めたよ！仲間と話して、人とのつながりを大事にしたいと思っている気持ちが伝わるような言葉を入れたよ！	